

QP3K4517

# 4気筒エンジン

## CB750FOUR:FOUR CYLINDER ENGINE

最高速度200km/hを実現する圧倒的なパワーを誇った、排気量736ccの4気筒エンジン。見た目の迫力はもちろんだが、その内部には当時の最新技術を駆使して生み出された一体成型クランクシャフトなどを内包している。

### シリンダー

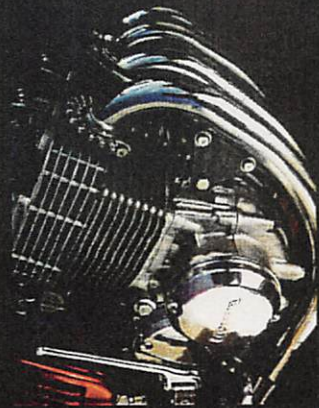
内部でピストンが上下し、吸いこんだガスが爆発するシリンダー。横一列に4つのピストンが並び、冷却フィンが四角張った形状で、未来的なデザインを旨とした。

### クランクシャフト

エンジンが生み出した回転力を後輪に伝えたり、切り離したりするクランクシャフトをこの中に装備。大容量で騒音の無い湿式多板式クランクシャフトは、厳しい操作と耐久性に優れる。

### クランクケース

ピストンの上下を回転運動に変えるクランクや、その回転数を減速するトルクミッションが収まる。クランクケースの製造には、ごく初期には砂型鑄造方法が用いられた。



ボア×ストローク61×63mmの736cc4気筒エンジンには1気筒ごとにキャブレターを装備し最高出力67馬力を発揮。当時「シエッタ感覚」と称された華やかで、ごく初期の生産ロットには砂型鑄造クランクケースが採用され、少量生産ならではの独特な風合いを醸し出す。

### シリンダーヘッド

ガソリンと空気が混ざった吸気や、爆発後の排気を制御するカムシャフトやバルブ、点火プラグを内蔵。CB750FOURでは、バルブの開閉機構にSOHC方式を採用する。

### 排気口

シリンダー内で爆発した後の排気ガスを放出するための排気口。ここにマフラーが接続される。

### オイルフィルターカバー

エンジン内部を潤滑するオイルの汚れをろ過するフィルターを取り囲むカバー。オイルを積極的に冷やすために、カバーには冷却フィンが装備されている。